広報みとよ
2015
5
月号
平成27年5月1日発行

蘇る一瞬 みとよ写真帳 page 29

このコーナーは、文書館に保存している古い写真を皆さんに紹介します。

懐かしの1枚

本山駅
昭和50(1975)年頃　豊中町

大正2(1913)年に讃岐鉄道の多度津·観音寺間が開通する。本山駅は開通当初から開業している。当初は貨物の輸送も行われていた。

「想い出の一ページ」

「あら、これは懐かしいなぁ」

本山駅のすぐ近くに住む武内喜久枝さん（86）は、満面の笑顔で話してくれました。

「今は無人駅やけど、昔は何人も駅員さんがいました。戦時中は男の人が兵隊さんに行ったから、女性の駅員さんが6~7人おったなぁ。駅長さんの奥さんと私のおばあちゃんが仲良しでね。女性の駅員さんは帰りが遅くなると危ないので、うちの2階に泊まったりしていましたよ。

駅のあたりは昔、大雨が降ると、よく洪水になってね。駅前の子どもたちは桑山小学校に通っていましたが、雨が降ると通れなくなるので、早めに下校していました。駅も水につかって列車も止まるので、駅員さんは用事がなくてね。『自分の乗ってきた自転車が水に流されたら大変』といって、駅の横の小屋の天井に、自転車をあげていましたよ。昭和35年に、うちのすぐ隣に水路がついて、それからはあまりつからなくなりました。

車のない時代は通勤や通学の人も多く、売店もあって、にぎやかで立派な駅でした。貨物列車も多くてね。駅の横に貨物倉庫があって、今も昔の貨物列車の引き込み線が残っています。

駅が当時の子どもたちの絶好の遊び場にもなっていて、みんな楽しそうに走り回っていましたよ。ほら、写真に煙突が写っているでしょう。駅の中に石炭ストーブがあったんです。冬はそのぬくもりの中で遊んでいました。駅員さんも、子どもたちのことを本当に大事にしてくれていましたね」

編集後記

満 開の桜の下でのお花見。皆さん楽しみましたか？今年は雨の日が多く、できていないという人も多いのではないでしょうか。私もその一人…。これからは市の花マーガレットが咲き誇るシーズンです。2ページでお知らせしたフラワーパーク浦島での花摘みイベントは、毎年多くの人でにぎわいます。マーガレットの苗の配布もありますので、ぜひ足を運んで三豊を〝花の楽園〟にしませんか。

発行・編集　三豊市役所総務部秘書課
香川県三豊市高瀬町下勝間2373番地1　☎0875(73)3001